

授業科目名	【G】 国際経済論Ⅱ 【EF】 特殊授業(国際経済論Ⅱ)	区分 選択	開講年次	【G】3 【EF】3	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目(一・一・公民・一)/【EF】一					
授業形態	対面授業					
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(一・一・公民選択・一)科目 【EF】 一				
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「社会学、経済学(国際経済を含む)」(高一種免公民)					
サブタイトル	国際経済の諸問題を、自ら調べ発表しレポートを作成する。			担当者	小川 竜明	
授業概要	【概要】	<p>国際経済は一般に、(1)人の移動(観光、移民などの労働力)、(2)財の移動(貿易、国際物流)、(3)金の移動(資本)、(4)情報の流通から成り、これらの取引を通じ外国との結びつきが強化される(or弱体化する)ことで、とりわけ自国の経済にどのような効果が生まれるか(orどのような影響を受けるか)を明らかにする学問である。この授業を通じて、国際労働移動、貿易、国際資本移動、情報のグローバル化についての理解を深め、世の中をより良くする一端を担う思考力を涵養していきたい。</p> <p>例年、国際経済論Ⅱは少数精鋭ですすめていることから、少人数の利点を活かし、履修する学生自身が教科書や新聞、インターネット等を使い調査し、調査した内容を発表する形式を採用する。就職活動を控える3年生にとっては前で発言するトレーニングにもなる。また4年生にとっては大学生活最後の半期を「猛勉強」して過ごせば、その報いは決して小さくないはずだ。とてもハードな授業になるが、「1つの授業でこれほど勉強(準備)したことがない」という爽快感を互いに得ようではないか。</p>				
	【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済に関する様々な経済事象(問題)について、自分の頭で考え、自分なりの答えを出し、さらにそれを自分の言葉で説明できるようになる。</li> <li>・諸問題の考察を通じ、論理的に考えるコツや相手に効果的に伝える方法を習得する。</li> <li>・同じテーマで取り組む他の学生の報告を聞き、物事を深く多面的にとらえられるようになる。</li> </ul>				
履修条件	・履修する学生は、学期中に8回(以上)の調査報告が求められる。調査方法や報告の方法等については第1回目の授業で話すので、必ず第1回目の授業に出席すること。					
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	ー (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	ー (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)				
他科目との関連性	①あらかじめ履修を済ませてほしい科目:経済学Ⅰ、経済学Ⅱ ②同時に履修することが望ましい科目:国際経済論Ⅰ ③当該科目を履修した後で履修してほしい科目:特になし					
教科書	齊藤誠『教養としてのグローバル経済—新しい時代を生き抜く力を培うために』有斐閣、2021年。 ※教科書は第1回から使用しますので、大学のテキスト一括販売を利用するなどして第1回の授業前に必ず入手してください。					
参考書	<p>&lt;グローバル化&gt;マルク・レヴィンソン(田辺希久子翻訳)『物流の世界史』ダイヤモンド社、2022年。          &lt;人の移動&gt;永吉希久子『移民と日本社会—データで読み解く実態と将来像』中央公論新社、2020年。          &lt;貿易&gt;大川良文『入門 国際経済学』中央経済社、2019年。          &lt;国際金融&gt;西村陽造・佐久間浩司『新・国際金融のしくみ』有斐閣、2020年。 その他、授業中に適宜紹介する。</p>					
評価方法	<p>平常点(50点)と調査報告書(レポート)(50点)により評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点は調査報告に向けた下準備の程度(5点×8回)や、他の学生の報告に対して積極的に質問するなど授業への参加貢献度(10点)。</li> <li>・調査報告後、他の学生の指摘や質問の回答を加えるなどして報告書(レポート)を作成(10点×5回)。</li> </ul>					
フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告時に、発表内容や発表方法等について気付いた点(直した方が良いと思われる点)があれば指摘する。</li> <li>・提出された調査報告書を読み、構成や語彙などの面で気付いた点があれば指摘する。</li> </ul>					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容について、これをよく理解し、答案等に自分の言葉で適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。</li> <li>・単元の内容についての理解や表現に、何らかの不適切ないし若干不足する点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とする。</li> <li>・単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。</li> <li>・なお、振り返りシートおよび期末レポートの未提出など、評価不能の場合には「F」とする。</li> </ul>					
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講姿勢により、授業内容を一部変更する場合がある。</li> <li>・授業の性質上、対面授業が実施できない場合は、「Google Meet」を使ったオンライン授業の実施を検討している(オンライン授業を余儀なくされた場合は、開講前にあらかじめ「Google Classroom」を通じ、履修を検討している学生に授業方法等について連絡する)。</li> </ul>					

授業 科目名	【G】	国際経済論Ⅱ	区	分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】	特殊授業（国際経済論Ⅱ）	選 択			【EF】3		【EF】2
授業回数	授業内容							
1	オリエンテーション(履修上の注意)、【イントロダクション】経済のグローバル化と日本							
	予習:	シラバス、及び教科書P.1~P.27を読む(90分)	復習:	授業の説明を反芻する(150分)				
2	【人材のグローバル化(1)】問題意識の醸成							
	予習:	教科書P.102~P.117を熟読する(30分)	復習:	調査報告[1]の準備(新聞やインターネット等を使った調査)(210分)				
3	【人材のグローバル化(2)】学生による調査報告(1回目の発表)							
	予習:	調査報告[1]の準備(発表に向けた資料の作成等)(120分)	復習:	調査報告[1]の手直し(再調査)(120分)				
4	【人材のグローバル化(3)】学生による調査報告(2回目の発表)							
	予習:	調査報告[1]の再準備(発表に向けた資料の作成等)(60分)	復習:	調査報告書(レポート)[1]の作成、提出(180分)				
5	【財とサービスのグローバル化(1)】問題意識の醸成							
	予習:	教科書P.118~P.138を熟読する(30分)	復習:	調査報告[2]の準備(新聞やインターネット等を使った調査)(210分)				
6	【財とサービスのグローバル化(2)】学生による調査報告(1回目の発表)							
	予習:	調査報告[2]の準備(発表に向けた資料の作成等)(120分)	復習:	調査報告[2]の手直し(再調査)(120分)				
7	【財とサービスのグローバル化(3)】学生による調査報告(2回目の発表)							
	予習:	調査報告[2]の再準備(発表に向けた資料の作成等)(60分)	復習:	調査報告書(レポート)[2]の作成、提出(180分)				
8	【金融と資本のグローバル化(1)】問題意識の醸成							
	予習:	教科書P.139~P.162を熟読する(30分)	復習:	調査報告[3]の準備(新聞やインターネット等を使った調査)(210分)				
9	【金融と資本のグローバル化(2)】学生による調査報告(1回目の発表)							
	予習:	調査報告[3]の準備(発表に向けた資料の作成等)(120分)	復習:	調査報告[3]の手直し(再調査)(120分)				
10	【金融と資本のグローバル化(3)】学生による調査報告(2回目の発表)							
	予習:	調査報告[3]の再準備(発表に向けた資料の作成等)(60分)	復習:	調査報告書(レポート)[3]の作成、提出(180分)				
11	【情報のグローバル化(1)】問題意識の醸成							
	予習:	教科書P.163~P.180を熟読する(30分)	復習:	調査報告[4]の準備(新聞やインターネット等を使った調査)(210分)				
12	【情報のグローバル化(2)】学生による調査報告							
	予習:	調査報告[4]の準備(発表に向けた資料の作成等)(90分)	復習:	調査報告書(レポート)[4]の作成、提出(150分)				
13	【企業の海外進出、世界との関わり(1)】問題意識の醸成							
	予習:	教科書P.182~P.226を熟読する(30分)	復習:	調査報告[5]の準備(新聞やインターネット等を使った調査)(210分)				
14	【企業の海外進出、世界との関わり(2)】学生による調査報告							
	予習:	調査報告[5]の準備(発表に向けた資料の作成等)(90分)	復習:	調査報告書(レポート)[5]の作成、提出(150分)				
15	【コロナ禍と経済のグローバル化】コロナ禍が国際経済に与えた影響、授業の総括							
	予習:	これまでの学習内容を反芻し、教科書P.228~P.249を熟読する(240分)	復習:	学習内容について理解を深める(継続して行うことが大切)				

科目コード B641-2-X